

第3期高知県自殺対策行動計画（案）に寄せられたご意見一覧

提出団体数：1団体 意見数3件

高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	該当頁
1	<p>地域の特性に応じた取組の促進に関して、圏域における関係機関のネットワークの強化」はとても重要だと思います。</p> <p>ネットワーク構築についての、メリット、労力、構築プロセスでポイントになったこと、課題などを共有してもらえると各関係機関や専門職能団体、専門職としての役割が見えてきやすい気がしています。これらが、包括的な支援体制の構築にあたっての地域ごとの「重層的支援体制整備事業」にも活かされてくるのではないかと感じました。</p>	<p>自殺する人は複合的な課題を抱えている場合が多く、自殺を防ぐためには多機関による重層的な支援が必要となりますので、市町村、圏域、県全体の各階層ごとに関係機関によるネットワークを構築し、連携しながら取り組むこととしています。</p> <p>その際、関係機関や専門職能団体等に自殺対策等により積極的に取り組んでいただくためには、ネットワークの目的やメリット、課題などを共有する必要がありますので、今後各階層のネットワーク等において共有してまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり、こうした取組をきっかけとして関係機関等に積極的に参画いただくことで、包括的な支援体制の整備にも良い影響を与え、地域共生社会づくりがさらに推進されるものと考えます。</p>	<p>P20～21 P28～29 P34</p>
2	<p>それぞれの分野に応じた対策を考えていく必要がある一方で、現場においては「高齢」「ひきこもり」「貧困」など複数の課題を抱えていたり、また担当者がいくつもの分野を掛け持ちしていたりと重複課題と人手不足とで、それぞれの分野に分けて考えにくい現場感覚があります。</p> <p>中学校区レベルのコミュニティで地域課題の整理を行い、「生きづらさ」や「孤独・孤立」の解消といった少し広めのカテゴリーで地域ごとの傾向と対策を考えていければ、結果的に自殺対策にもつながっていくのではないかと考えます。</p>	<p>県及び市町村は、8050問題や生活困窮といった問題が複雑化・複合化した世帯等への支援を一人で抱え込むことなく、各分野の支援者が連携して包括的に支援する「地域共生社会」の実現に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>この地域共生社会の実現に向けた取組は、包括的な支援体制の整備を図ること、状態が深刻化する前の早期発見や複合的課題に対応するための関係機関のネットワークづくりなど、自殺対策と共通する部分が多くありますので、こうした施策と連携を図りながら取組を進めてまいります。</p>	<p>P 23 P34～39</p>
3	<p>「高齢者心のケアサポーター」や「若者向けゲートキーパー」の養成はとても重要な取組だと考えます。養成されたサポーター、ゲートキーパー等が所属機関や地域において機能しているのかどうか、機能しているのであればどのような好事例が生じているのかどうか等、養成後の継続的な取組への発展、地域コミュニティにおける活躍状況などが気になります。</p>	<p>ゲートキーパーを、これまでに4,500人養成しておりますが、ゲートキーパーとしての意識を持ち続けていただくことや、効果的な活動に繋げていくための支援は大変重要なことだと考えておりますので、好事例や成果等を共有する仕組みづくりに取り組んでまいります。</p>	<p>P40</p>